

日本家庭科教育学会 2019（令和元）年度例会

日本家庭科教育学会
会長 赤塚 朋子

日本家庭科教育学会 2019 年度の例会を下記の要領で開催いたします。
会員の皆様、どうぞ多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日時：2019年12月8日（日） 13：00～17：00（受付は12：30から）

場所：東京学芸大学（〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1）

*JR 中央線武蔵小金井駅北口 京王バス 5 番乗り場「小平団地」行き約 10 分
「学芸大正門」下車

*JR 中央線国分寺駅北口 徒歩約 20 分

タイムスケジュール

受付	12：30～	講義棟 S 棟 4 階ホール
研究発表	13：00～14：20	4 階 S402, S403, S404, S405, S406
課題研究中間報告会	14：30～：17：00	4 階 S410

理事会 9：45～11：00（講義棟 S 棟 4 階 S407）

地区会代表者会議 11：15～12：15（講義棟 S 棟 4 階 S407）

- ★研究発表および課題研究最終報告会の発表者でパワーポイントご使用の方は、12：10 から 12：30 の間に各会場にてデータのインストールを行ってください。
- ★口頭発表時間は15分、質疑応答は4分です。本例会より、発表者の入れ替え時間を考慮し、質疑応答の時間が1分短くなっています。ご承知おきください。
- ★口頭発表のための資料は、パワーポイント及び印刷物とします。本例会より、紙媒体による配布資料の準備は任意といたします。なお、紙媒体による配布資料がある場合には、必ず100部ご準備し、発表直前に会場係にお渡しください。会場係が参加者に配布します。余った資料は会場内の資料置き場に置いておきます。
- ★業者展示は、S 棟4階S401講義室において12:30～17:00の間に行われます。

参加費：正会員 1,800 円 学生会員 1,000 円
非会員 2,000 円 学生非会員 1,500 円

上記に関する問い合わせ先： 日本家庭科教育学会事務局
〒112-0012 文京区大塚 4-39-11 仲町 YT ビル 3 階

Tel & Fax 03-3942-7885 E-mail kateika@amethyst.broba.cc

I. 研究発表 (13:00~14:20)

第1会場 (S404)

座長 堀江 さおり (秋田大学)

- | | | | |
|-----|--|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1-1 | 中学生の生活設計リテラシーとジェンダー観の実態把握 | 福岡教育大学
大阪教育大学教育学部
弘前大学教育学部 | ○奥谷めぐみ
鈴木真由子
加賀恵子
大本久美子 |
| 1-2 | 生活設計と住宅購入を関連付けたシュミレーションゲーム教材の検討 | 福岡教育大学大学院
教育学研究科(院生)
福岡教育大学教育学部 | ○照屋レイラ
貴志倫子 |
| 1-3 | 持続可能な社会に向けた「青年期の自立」教育の課題
- 国連子どもの権利委員会の日本報告書への2019年総括所見から - | 共立女子大学家政学部(非) | ○小野瀬裕子 |

第2会場 (S405)

座長 山本 奈美 (和歌山大学)

- | | | | |
|-----|---|-------------|-------|
| 2-1 | 小学生の家庭生活における家事実践状況の考察
- 掃除と整理整頓について - | 和歌山信愛大学教育学部 | ○千森督子 |
| 2-2 | 中学校家庭科教員グループと大学教員との協働による住居領域の授業研究
- 自主研修会の成果と課題についての考察 - | 香川大学教育学部 | ○妹尾理子 |

- | | | | |
|-----|------------------------|-----------------|-------|
| 2-3 | 全国家庭科教育協会の設立と職業・家庭科の成立 | 東京都江戸川区立松江第五中学校 | ○浅井直美 |
|-----|------------------------|-----------------|-------|

第3会場 (S406)

座長 河田 哲典 (岡山大学)

- | | | | |
|-----|---|---|--------------------------------|
| 3-1 | 新任教員の指導事例
- 食品分類の授業のナラティブ解釈 - | 浦和大学
さいたま市立岸中学校 | ○伊深祥子
金子京子 |
| 3-2 | 生徒が主体的に学ぶ授業づくりの支援方法
- 教育実習生の授業研究を通して - | さいたま市立岸中学校
浦和大学 | ○金子京子
伊深祥子 |
| 3-3 | 掃除の健康的な意義や汚れの除去を考慮した掃除方法を体感や比較実験を取り入れて学ぶ授業 | 新潟大学教育学部 | ○飯野由香利 |
| 3-4 | 高等学校家庭科における住生活に関する授業実践研究
- ジグソー学習によって自分の将来の住生活を考える授業 - | 静岡大学教育学部
静岡県立駿河総合高等学校
新潟大学教育学部
浦和大学こども学部 | ○小川裕子
高木優子
飯野由香利
伊深祥子 |

第4会場 (S402)

座長 磯崎 尚子 (富山大学)

- | | | | |
|-----|---|--|--------------------------------|
| 4-1 | 高校家庭科における減災授業の実践
- 「共生・人の多様性」視点を活かして - | 広島都市学園大学子ども教育学部
敬愛大学国際学部
山形大学地域教育文化学部
鹿児島大学水産学部 | ○富田道子
小谷教子
石垣和恵
齋藤美保子 |
|-----|---|--|--------------------------------|

- | | | | |
|-----|--|--|--------------------|
| 4-2 | 中学校家庭科「災害時を想定した
献立作成」における料理レシピ検
索サイト活用の効果 | 兵庫教育大学大学院
連合学校教育学研究
科（院生）
兵庫教育大学大学院 | ○小林裕子

永田智子 |
| 4-3 | アメリカ家庭科教科書における
「家族・家庭生活」領域の学習内
容に関する一考察 | 兵庫教育大学大学院
連合学校教育学研究
科（院生）
兵庫教育大学大学院 | ○村田晋太郎

永田智子 |
| 4-4 | 高校生のセクシュアルマイノリ
ティに対する偏見・差別意識を形
成する要因
- 家庭科教育における取り扱い
- | 東京学芸大学（院生）
東京学芸大学教育学
部 | ○高比良悠紀
藤田智子 |

第5会場（S403）

座長 横山 真智子（各務原市立桜丘中学校）

- | | | | |
|-----|---|---|--|
| 5-1 | 衣生活の学習による能力の育成
- 生活場面で実践できる力の実
態と課題 - | 椋山女学園大学教育
学部
三重大学教育学部
常葉大学教育学部
静岡大学教育学部
津市立東観中学校
伊賀市立玉滝小学校
静岡大学教育学部
（元） | ○室雅子

吉本敏子
星野洋美
小川裕子
吉岡良江
安場規子
吉原崇恵 |
| 5-2 | 省エネ教育と編み物実習をつな
ぐ教育プログラムの構築 | 神奈川大学附属高等
学校（非） | ○安部明美 |
| 5-3 | 大学生の衣生活と家族との衣服
の共用 | 鹿児島大学教育学部 | ○瀬戸房子 |

5-4 小・中・高等学校家庭科の衣生活 鳴門教育大学(院生) ○福井ともこ
領域における実験・実習に関する 鳴門教育大学大学院 速水多佳子
大学生の意識 学校教育研究科
鳴門教育大学大学院 福井典代
学校教育研究科

Ⅱ. 課題研究 中間報告会 (14:30~17:00)

趣旨:

新学習指導要領の先行実施が始まり、次世代の教育のあり方が問われています。家庭科では、未来を支える力として、少子高齢社会に対応する力や生活課題の解決に必要な社会参画力、持続可能な社会を構築する力、生活文化の継承・創造などが示されています。このような動向に対し、二つのテーマで第4次課題研究(2018~2020年)が進行しています。一つは、家庭科で育てる学力(資質・能力)の整理を理論的に進め、教科の本質を追求する授業研究により、学校教育における家庭科の意義、役割を明らかにする研究、もう一つは、学校現場の抱える課題解決とこれからの教育を担う指導力を備えた家庭科教員養成・研修の実践やカリキュラムの研究です。

今回、中間報告会として、各研究グループの研究成果を会員で共有するとともに、研究のさらなる展開と家庭科教育の取り組むべき課題について皆さんと一緒に考えたいと思っております。

コーディネーター:堀内かおる(横浜国立大学)

指定討論者:佐藤ゆかり(上越教育大学)

望月一枝(一橋大学(非))

総括:綿引伴子(金沢大学)

テーマ1 家庭科の学力(資質・能力)の育成状況に関する調査・実証研究

1-1 新学習指導要領にみる中学校家庭科への期待と可能性

～より効果的な家庭科授業づくりの検討～

報告者:葛川幸恵(横浜市立領家中学校)

新学習指導要領に示された中学校家庭科に対する期待、教育現場の課題、そこから、教科の力を存分に発揮できる授業提供の方法について検討した。資質・能力の育成に他教科との連携や、失敗から学ぶ授業モデルを実践したい。

1-2 高校家庭科の学力(資質・能力)の育成状況に関する調査・実証研究

報告者:野中美津枝(茨城大学 教育学部)

齋藤和可子(中央大学附属中学校・高等学校)

学会で進めている「生活リテラシー」の要素および家庭科で習得する知識・技能を検討して、高校生の育成状況や生活実態を調査した。さらに、課題のあった「エシカル消費」の授業研究を報告する。

テーマ2 家庭科教員養成に関する調査・実証研究

2-1 A 教員養成—家庭科教員の資質・能力

報告者：村上睦美（奈良教育大学）

2-1 B 教員養成—家庭科教員養成の目的・方法・内容

報告者：小倉育代（大阪教育大学）

テーマ2では、教員の養成・採用・研修の一体的改革により、家庭科の教師力を向上させることを意図して、調査による実証研究を行った。1Aでは、養成課程学生の家庭科等の意識と実態について報告する。1Bでは、家庭科教員養成における目的、方法、内容について検討するために、大学教員の認識と教員組織及びカリキュラムに関する調査結果に基づいて、それらの実態の一部を報告する。

2-2 家庭科教員研修に関する実態と課題

報告者：青木香保里（愛知教育大学）

教員の資質向上を目指して、養成・採用・研修の接続が求められている中で、採用後の「研修」に焦点をあて、各都道府県の家庭科担当指導主事対象調査から、家庭科の教科研修の実態と課題を把握し、その検討を行った。

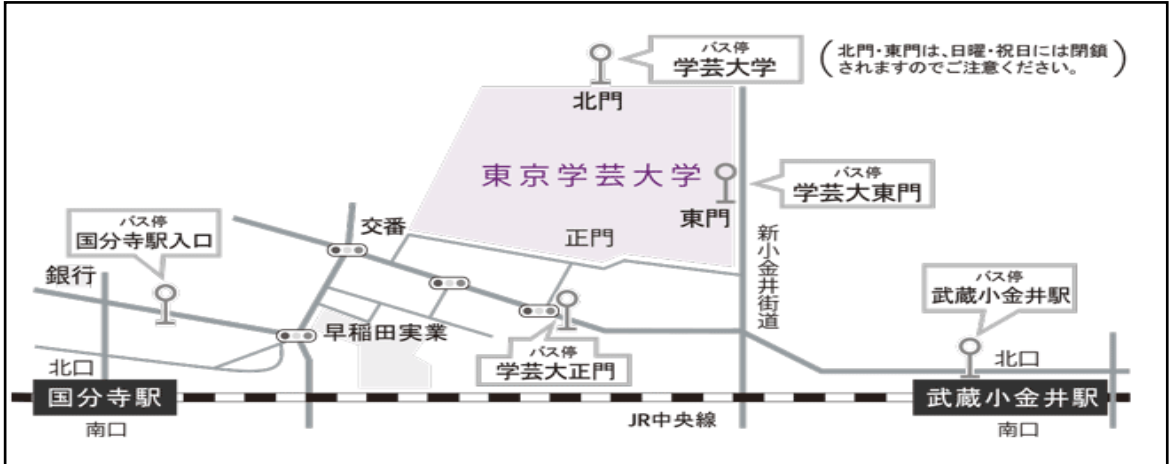
【会場（東京学芸大学）へのアクセス】

JR 中央線 武蔵小金井駅北口

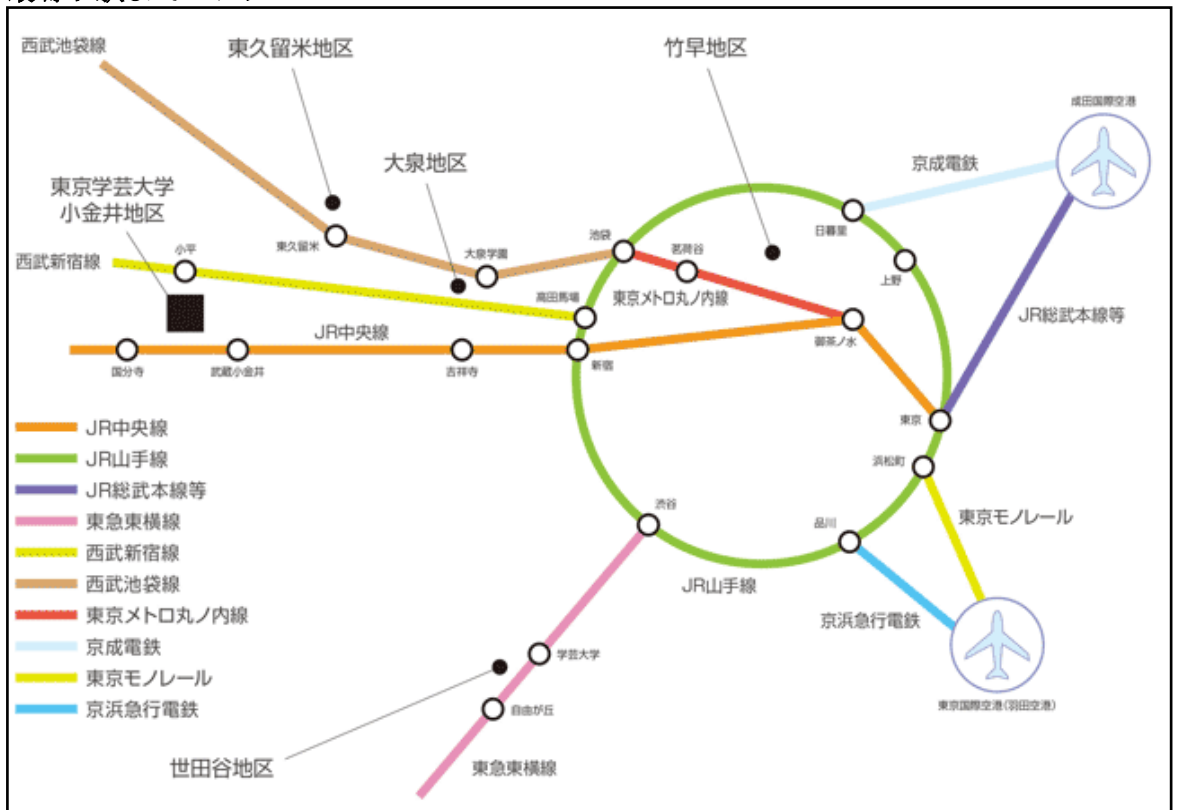
【京王バス】〔5番バス停〕「小平団地」行に乗車、約10分。「学芸大正門」下車

JR 中央線 国分寺駅北口

【徒歩】約20分(JR 国分寺駅北口→早稲田実業学校→連雀通り／小金井市保健センター前)



最寄り駅までのアクセス



(<http://www.u-gakugei.ac.jp/access/>)